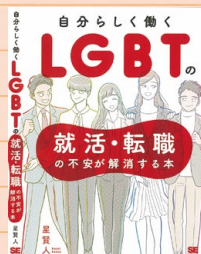


新着図書・DVDのご案内



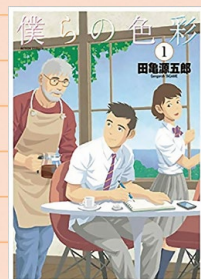
図書

おとめ六法
上谷さくら、
岸本学 著
(KADOKAWA)



図書

**自分らしく働く
LGBTの就活・転職
の不安が解消する本**
星賢人 著
(翔泳社)



コミック

僕らの色彩
田亀源五郎 著
(双葉社)



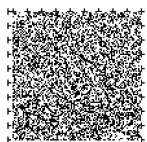
DVD

弟の夫
田亀源五郎 原作
2018年 日本



DVD

パレードへようこそ
マッシュー・ウォーチャス 監督
2014年 イギリス



が来なかったりすることがあります。また、災害のときや犯罪にあったとき、困窮状態のときなどは、普段以上にマイノリティのさまざまな困難が浮き彫りになりやすいといわれています。

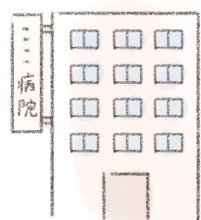
実際、災害時の避難所はプライバシーがほぼなく利用しにくい、同性パートナーからのDV被害が想定されておらず相談先がない、男性のみ・女性のみのシエルの利用をトランスジェンダーであるという理由で拒否されたといった事例もあります。非常時という意味では、今のコロナ禍の状況もあてはまります。

戸籍上同性のパートナーがいる人の場合、病院などで家族と認めてもらえず、入院や手術の同意書にサインができなかったり、緊急時に連絡

私がコロナで感染し入院しても、病院で同性のパートナーが家族として扱われないことへの不安が大きい。

(レスビアン)

見た目は男性だけど、保険証の性別は女性であるため、いつも病院で保険証が間違えていないか確認される。また、戸籍名(女性名)を大きな声で呼ばれるのも辛い。(トランスジェンダー男性)



【暮らしのなかでのさまざまな場面】
他にも、暮らしのさまざまな場面で困りごとがあります。例えば、書類上の性別と見た目の性別が異なる人の場合、必要以上に本人確認をされる、役所や病院の窓口でフルネームをよばれると周囲の人からジロジロと見られる、といったストレスを抱えることがあります。

目黒区や他行政の取り組み

このような状況を受け、目黒区では、性の多様性が尊重される社会を実現するため、令和2年3月に、「目黒区男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」が施行されました。この条例改正により、性的指向及び性自認に基づく差別的取扱いを受けないことや、多様な性的指向及び性自認の在り方が尊重される、誰もが自分らしい生き方を選択できることなどを基本理念として定めるとともに、基本理念を具体的な取り組みの実施に繋げるため、「性的指向及び性自認に起因する日常生活上の困難等の解消に向けた施策」を区の推進施策として実施することを定めました。

また、他の行政では、同性パートナーを認知する「パートナーシップ制度」を施行する自治体は、2015年に取り組みを開始した渋谷区・世田谷区をはじめ、74自治体に増えています(2021年1月8日時点)(※6)。

このように、行政の取り組みはどんどん促進されています。



これまで、国、学校、企業などがLGBTの人たちが直面する困難を解決するために取り組んでいることを紹介してきましたが、私たち一人ひとりにできることもたくさんあります。

【カミングアウトとアウティング】
みなさんも、LGBTの人たちから相談をうけることがあるかもしれません。本人の意思でセクシュアリティを打ち明けることを「カミングアウト」といいます。もし誰かからカミングアウトをうけたら、まずはその人の話を受け止めてください。そして、できることならば「大切なことを話してくれてありがとう」という一言を伝えてみてください。

カミングアウトするときというのは、非常に緊張するものです。その一言で、「嫌われるのではないか」「ハラスメントをうけるのではないか」といった不安が解消されるかもしれません。反対に、絶対にしてはいけないのは、本人の許可なく第三者にセクシュアリティを暴露する「アウティング」です。

重大な人権侵害であり、相手の居場所をなくしてしまうかもしれません。一人で受け止めきれないときや誰かに相談したいときは、共通の知人などではなく、匿名の相談窓口などを利用するようにしましょう。

【アライになる】
「アライ(ally)」という言葉をご存知ですか? 「アライ」は、性的マイノリティの理解者・支援者のことです。アライが身近にいることで、安心して、相談しやすくなったりします。なお、セクシュアリティが見た目では判別できないのと同様に、アライかどうかも見えた目ではわかりません。そのため、「自分はアライである」ということを積極的に表明していく必要があります。その手段の一つが、LGBTの国際的なシンボルである6色(赤・橙・黄・緑・青・紫)のレインボーを掲げることです。

レインボーをデザインしたステッカーをパソコンなどに貼付したり、レインボーアクセサリを身につけたりすることができます。「レインボーグッズ」などのワードで検索すると市販の商品や無料ダウンロードできる素材が見つかるでしょう。



マイノリティにとって過ごしやすい社会は、
きっと全ての人のために過ごしやすい社会です。

一人ひとりが多様性を尊重することで、

ともにそのような社会を

形成していきましょう。

【相談窓口】

★区相談窓口こころの悩みなんでも相談

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/shisetsu/shisetsu/sonota/danjo/sodan.html>...



★東京都性的指向及び性自認に関する専門電話相談

<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/10jinken/tobira/lgbt-soudan.html>



★東京都性的指向及び性自認に関する専門LINE相談

<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/10jinken/tobira/lgbt-soudan2.html> ...



★よりそいホットライン

<https://www.since2011.net/yorisoi/> ...



★著者紹介

薬師実芳 やくし みか

認定NPO法人ReBit代表理事／国家資格キャリアコンサルタント／
目黒区男女平等・共同参画審議会委員

認定NPO法人ReBitは、「LGBTを含めすべての子どもがおりるままで大人になれる社会」を目指す、認定NPO法人。教育現場でのLGBT理解促進を目指す教育事業や、キャリア支援・企業啓発を行うキャリア事業を行う。出版物に「LGBTってなんだろう?」「ふつうってなんだ?」などがある。

ホームページ：<https://rebitlgbt.org>

※6)渋谷区・認定NPO法人虹色ダイバーシティ (2021)
「渋谷区・認定NPO法人虹色ダイバーシティ 全国パートナーシップ制度共同調査」

